



# Hospital play

EVERY CHILD MATTERS

すべての子どものために、  
すべての子どものために、



## ホスピタル・プレイとは何か?

What is Hospital Play?

- 1 医療を受ける子どもたちにとって必要不可欠な、子どもゆえに必要な遊びの活動
- 2 医療と関わる子どもたちが、その経験を肯定的なものとして受け止められるよう、子どもの人格を守り、安心感を作り出すための遊びの活動
- 3 医療者が、子どもの情緒面を理解するために、必要な情報を提供する遊びの活動
- 4 ともすれば命を保障するためという大義の下に、阻害される可能性のある子ども自身の権利を守るための活動



大人は、子ども期の経験を積み上げて大人になります。  
子ども期に何をどのように経験するかという問題は大人になってからの人生に深く影響を与える問題なのです。  
病気や障がいを持つ子どもたちも決して例外ではありません。

むしろ、医療とかかわる子どもたちの気持ちに、  
もっと注意が払われるべきではないでしょうか。

HPSはこどもの声を**聴く**ために遊びを用います。  
HPSはこどもに声に**応える**ために遊びを用います。  
HPSはこどもの声を**届ける**ために遊びを用います。

### 寄付のお願い

当法人では病気や障がいのある子どもたちへのホスピタル・プレイによる在宅支援やワークショップを開催し、遊びで育む遊育支援事業を行っております。みなさまからのご支援なしでは活動を続けることができません。医療と関わるすべての子どもにホスピタル・プレイを届けるため応援お願いします。

かざして基金

ゆうちょ振替口座



口座記号番号 00840-2-183168

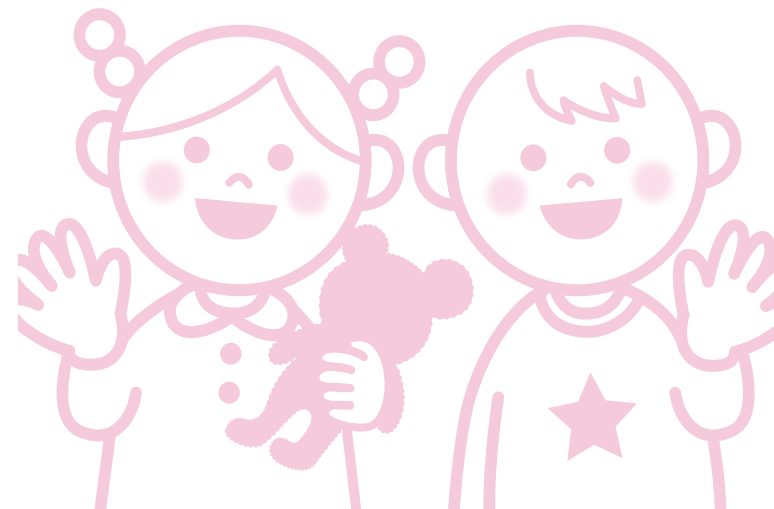
受取人名義 ト(フビ)ホスピタルプレイキョウ

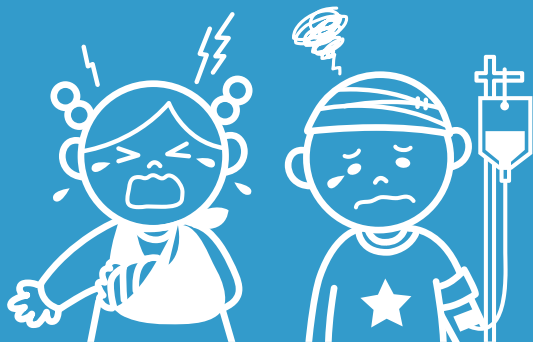
カイスベテノコドモノ

ご寄付いただいた方のお名前をニュースレター(年4回発行)のなかでご紹介させていただいております。匿名希望の方はその旨をお知らせください。

NPO法人ホスピタル・プレイ協会  
すべての子どもの遊びと支援を考える会  
〒453-0041  
名古屋市中村区本陣通5-6-1  
地域資源長屋なかむら1階  
TEL・FAX 054(202)2652  
Mail info@hps-japan.net

静岡県立大学短期大学部  
HPS事務局  
〒422-8021  
静岡市駿河区小鹿2-2-1  
TEL・FAX 054(202)2652  
Mail hps-japan@u-shizuoka-ken.ac.jp





## The Power of Play 遊びの力

子どもにとって遊びは、すべての「始まり」の活動です。

子どもは遊びから学びます。

子どもは遊びながら成長します。

遊びは、子どもの豊かな成長と発達に欠かすことができません。

遊びは、子どもの中に肯定感を形成します。

自分の「よいところ」を知っている子どもは、

他人の「よいところ」を見つけることができます。

子どもは、遊びを通して挑戦する心を育てます。

また遊びを通して傷ついた心を癒します。

子どもは、遊びを使って自己を表現します。

子どもは、遊びを通して人との良好な関係を作ります。

そして何よりも遊びは自由で楽しい、

この自由と楽しさをたくさん感じた子どもは、

人を信じ、人とともに歩む大人になって行くことでしょう。

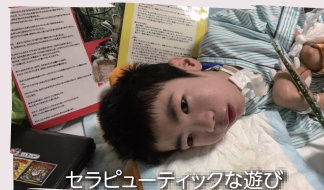
## ホスピタル・プレイ・ スペシャリストのミッション

The mission of Hospital Play Specialist.

- 1 医療にかかわる子どもたちすべてに対し、遊びの力を届けます。
- 2 遊びの持つ癒す力を用いて、医療とかかわるすべての子どもを支援します。
- 3 子ども自身のセルフ・コントロール感が損なわれないよう、遊びを用いて治療に対する子どもの準備を行ないます(プレイ・プレパレーション)。
- 4 治療場面において子どもが不必要な痛みや恐怖を感じないように、遊びを用いて支援します(ディストラクション・セラピー)。
- 5 治療後に医療に対する肯定感が持てるよう、手術や処置の後の遊びを支援します。
- 6 プレイ・プログラムを作り、個別に遊びの支援が必要な子どもを支えます。
- 7 治療する子どものきょうだいが取り残されたという気持ちにならないよう、きょうだいに対し遊びを用いた支援を行います。
- 8 小児医療チームの一員として、遊びを用いて子どもの治療に貢献します。
- 9 医療とかかわる子どもたちが自己肯定感を失うことなく社会の一員として活躍できるよう、将来を見通した遊びの支援を行います。
- 10 遊びの価値を広く社会に伝えます。



処置後の遊び



セラピューティックな遊び



プレイ・プレパレーション



ディストラクション・セラピー

## わたしたちのこれまでのあゆみ

- 平成19年度～平成21年度  
文部科学省 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム『離職保育・看護資格保有者のキャリアアップのための「HPS」養成教育プロジェクト』HPS 養成講座 第1クール開講
- 平成19年度  
National Association of Hospital Play Staff (NAHPS:英国ホスピタルプレイスタッフ協)およびHospital Play Staff Education Trust(英国HPS教育財団)との協力のもとにHPS養成事業 開始
- 平成21年度～平成23年度  
文部科学省 大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム『体系的なHPS 養成教育プログラムの開発』
- 平成21年度  
第1回HPS 国際シンポジウム in Japan 開催(毎年1月開催)
- 平成22年6月  
HPS養成講座修了生が日本ホスピタル・プレイ・スタッフ協会(HPSJ)の会設立
- 平成24年6月  
日本ホスピタル・プレイ・スタッフ協会とHPS養成事業に関わる教職員が中心となり、NPO法人ホスピタル・プレイ協会設立
- 平成27年7月～平成28年6月  
静岡県立大学短期大学部社会人専門講座パイロット事業 HPS養成週末講座(平成29年度より継続開講)
- 平成28年度  
HPS養成講座、HPS養成週末講座ともに文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定
- 平成28年度  
HPS養成講座が厚生労働省 教育給付金制度の指定講座 認定
- 平成29年度  
HPS養成週末講座が厚生労働省 教育給付金制度の指定講座 認定

## HPSで必要とされている資質・能力

